

# 2013年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2012年7月31日

 日鐵商事株式會社

※本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。  
また、本資料に記載された将来の予測等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

# 目次

1. 2013.3期1Q 連結業績
2. 2013.3期1Q トピックス
3. 2013.3期1Q セグメント別連結業績
4. 連結海外売上高の推移
5. 2013.3期1Q 連結経常利益増減分析
6. 2013.3期1Q 連結財政状態
7. 株主還元

# 1. 2013.3期1Q 連結業績

- 輸出を中心に鋼材販売数量は増加したものの、価格下落や鉄鋼メーカー向けのステンレス屑などの取扱減により減収
- 鋼材販売価格の下落やロシア向け輸出の減少により減益

(億円)

	11.3期1Q	12.3期1Q	13.3期1Q	増減	
				金額	率
売上高	2,559	2,791	2,608	▲182	▲6.5%
売上総利益	109	118	107	▲11	▲9.4%
販管費	80	89	87	▲1	▲2.1%
営業利益	28	29	19	▲9	▲31.8%
経常利益	28	30	19	▲11	▲36.6%
税前利益	28	30	18	▲12	▲40.9%
当期純利益	16	18	10	▲8	▲43.4%

## 2. 2013.3期1Qトピックス

- 2012年6月に種類株式の償還が完了
- 国内販売拠点の拡充(6拠点)
  - ⇒ 盛岡営業所、北関東営業所、姫路営業所、熊本営業所、松江駐在、松山駐在を新設
- バングラデシュにダッカ事務所を新設(2012年10月業務開始予定)
- 香港－マカオ連絡道路「香港人工島」建設工事向け直線鋼矢板の出荷開始

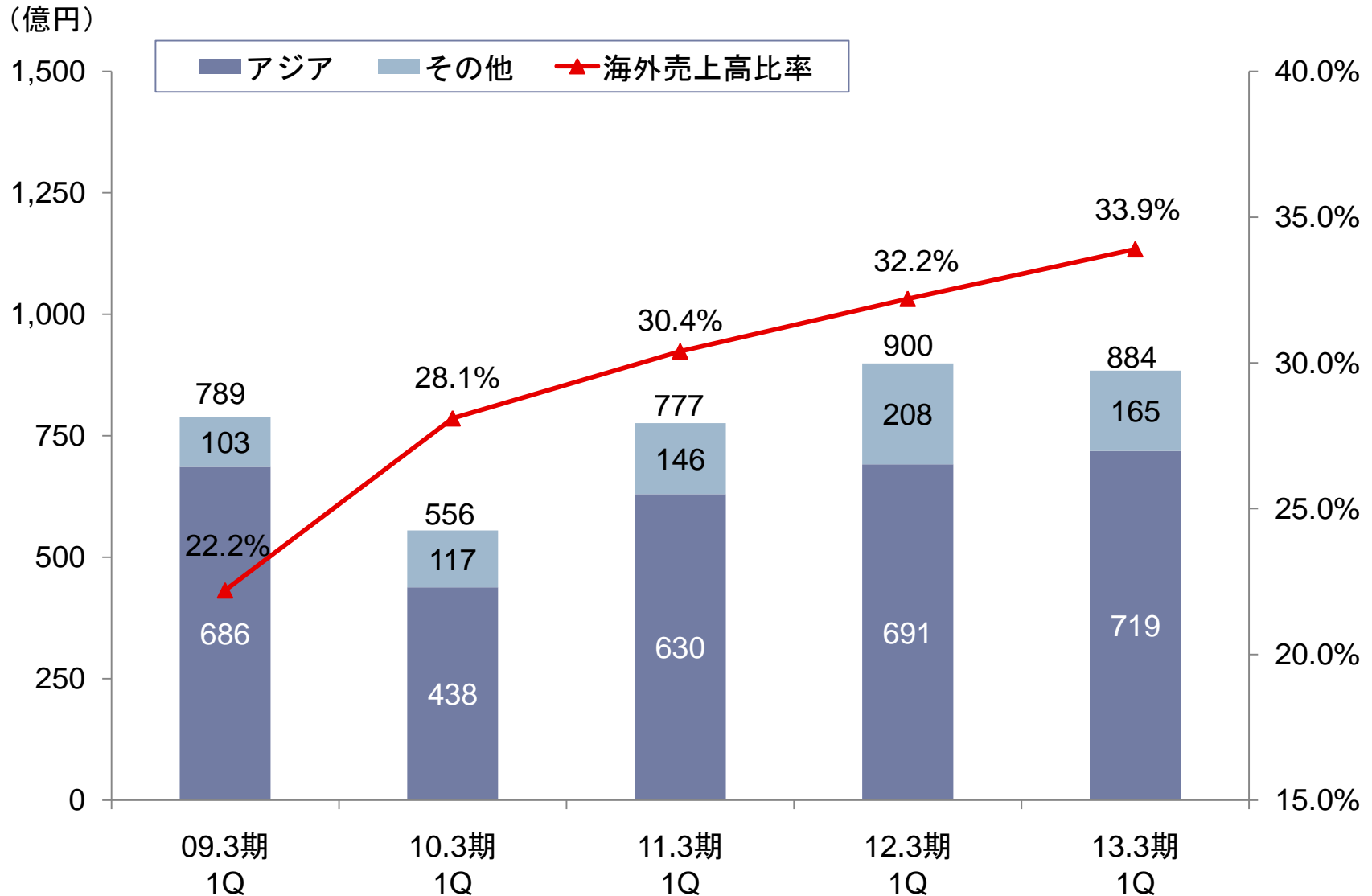
### 3. 2013.3期1Q セグメント別連結業績

- 鋼材 ⇒ NSMコイルセンター発足による統合効果あるも、価格下落により減益
- 原燃料 ⇒ 鉄鋼メーカーの減産によるステンレス屑などの取扱減により減収
- 産業機械・機材 ⇒ ロシア向け輸出の減少により減収減益

(億円)

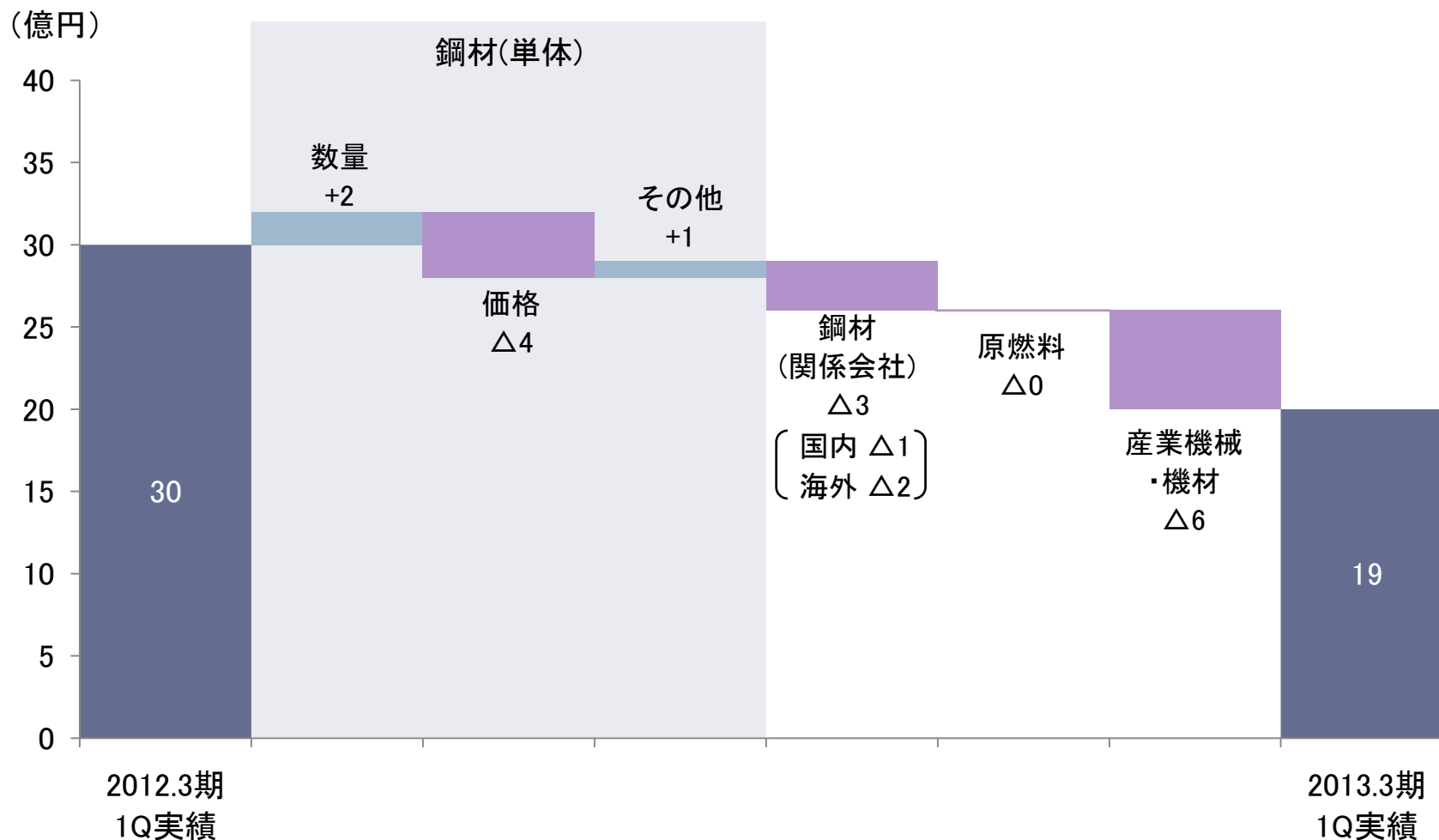
	11.3期1Q	12.3期1Q	13.3期1Q	増減	
				金額	率
<b>売上高</b>					
鋼材	1,955	2,223	2,200	▲22	▲1.0%
原燃料	494	387	272	▲114	▲29.6%
産業機械・機材	109	180	135	▲44	▲24.8%
合計	2,559	2,791	2,608	▲182	▲6.5%
<b>経常利益</b>					
鋼材	21	19	14	▲4	▲24.3%
原燃料	4	3	3	▲0	▲0.3%
産業機械・機材	3	8	1	▲6	▲79.3%
合計	28	30	19	▲11	▲36.6%

## 4. 連結海外売上高の推移



# 5. 2013.3期1Q 連結經常利益增減分析

2013.3期1Q 連結經常利益/前年同期比



## 6. 2013.3期1Q 連結財政状態

- 種類株式の償還(40億円)及び期末配当により、純資産は25億円の減少
- 利益によるキャッシュインあるも、種類株式の償還などの影響により有利子負債は増加

(億円)

	11.3期末	12.3期末	12.6期末	差額
純資産	559	581	556	▲25
総資産	3,323	3,333	3,265	▲67
有利子負債	779	672	742	70
1株当たり純資産(円)	319.60	345.44	344.41	▲1.03
自己資本比率	14.5%	14.8%	14.2%	▲0.6%



## 7. 株主還元

- 2013.3期の普通株に対する1株配当は8円を予定
- 株主の皆様への継続的、安定的な利益還元には十分留意のうえ、配当方針を決定
- 中期的には配当性向などを基準に業績に応じた配当を目指す

### 普通株1株当たりの配当

08.3期	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期	13.3期予想		
					年間	(2Q)	(期末)
7円*1	6円	7円*2	7円	7円	8円	(4円)	(4円)

\*1 2008年3月期配当には、創立30周年記念配1.0円を含む

\*2 2010年3月期配当には、一部上場記念配2.0円を含む